

薬害に関する資料調査等について

1. 予算関係

(1) 薬害に関する資料の調査・目録作成費

① 事業概要

薬害に関する資料を教育等に活用するとともに後世に伝えていくためには、どこにどのようなものがどの程度あるのか、実態を把握し、資料を整理する必要がある。

被害者団体等が保有する薬害に関する資料の名称、内容、保管場所等を調査し、目録を作成する。

② 予算額

平成25年度：11,639,000円

③ 事業内容等

- ・実態の把握のための調査
- ・被害者団体の事務所等の調査
- ・未整理書類等の分類・整理の補助
- ・目録作成

(2) 厚生労働科学研究費

① 研究概要

被害者やその家族の高齢化や文献等の関連資料の散逸が進んでいることから、貴重な資料や関係者の証言が失われてしまう可能性が高い。

被害者団体が所有している資料等の状況・実態について調査を行い、資料等を統一的・体系的に分類・整理・保管するための手法を検討し、それを実践する。資料等の亡失を防ぎ、今後、薬害に関する啓発や教育、研究等への効果的な利用、被害者等対策への検討材料として活用することができるようにする。

② 研究期間、予算額

平成25年度から2カ年、平成25年度：5,000,000円

③ 研究者

法政大学大原社会問題研究所 准教授 金 慶南（キム ギョンナム）

④ 研究内容等

- ・資料等の実態調査（聞取調査・現地調査）
- ・統一的・体系的な整理・保管方法の検討
- ・統一的・体系的な整理・保管等のためのマニュアル（仮）作成
- ・マニュアル（仮）の被害者等への配布
- ※必要に応じてマニュアル（仮）の修正等の検討
- ・作業状況の確認・助言・指導

2. 進捗状況等

(1) 進捗状況

平成25年8月24日(土)に第1回薬害資料調査のための会合を開催

- ・「薬害に関する資料の所在状況等に関するアンケート」(平成24年1～3月実施)に基づき、各団体から資料の状況を聴取。
- ・各団体の資料調査担当の窓口の確定
- ・法政大学大原社会問題研究所 金准教授による「資料保管の重要性及び方法等の基礎的な知識」の講義
- ・金准教授より、各団体へ実態調査への協力依頼

(2) 今後の予定

- ・金准教授による実態調査の実施。
- ・金准教授による実態調査と並行して、未整理書類等の分類・整理補助等の実施。

薬害に関する資料調査関係の厚生労働科学研究費について（概要）

1. 研究課題名

薬害に関する資料等の調査・管理・活用等に関する研究

2. 研究者

法政大学大原社会問題研究所 准教授 金 慶南（キム ギョンナム）

専攻科目 アーカイブズ学、近代史

3. 研究費

5, 000, 000円

4. 研究期間

平成25年度から2カ年

5. 研究概要

サリドマイドやスモン、HIV、クロイツフェルトヤコブ病、C型肝炎などの医薬品等による薬害事件について、その発生から年月が経過するにつれて、被害者やその家族の高齢化等により、被害者個人やその家族、団体が所有している薬害に関する貴重な資料等が適切に管理・保管がなされないままに散逸が進み、失われていってしまう可能性が非常に高い。

そのため、それぞれが所有している資料等の状況・状態について速やかに調査を行い、資料等を統一的・体系的に分類・整理・保管するための手法を検討し、それを実践することによって、資料等の亡失を防ぎ、今後、薬害に関する啓発や教育、研究等への効果的な利用、被害者等対策への検討材料として活用することができるようになることによって、国民の医薬品等の安全対策への認識の向上、薬害の再発防止に寄与することを目的として研究を実施する。

6. 研究計画・方法

- ① 資料等の状態（どのような資料がどこにどの程度あるのか）を把握するための調査を実施。
 - ② 調査結果を基に資料等を統一的・体系的に整理・保存するための方法について検討。
 - ③ 被害者個人や団体において、統一的・体系的に資料等を整理・保存するためのマニュアル（仮）の作成や整理・保存の実施に当たっての助言・指導を実施する。
- ※ 被害者及び被害者団体は全国に存在するため、1年目は上記①、②を実施。2年目は①を継続しつつ、1年目の成果を基にマニュアル（仮）を完成させ、被害者等に配布、マニュアルに沿って被害者等各自、各所から資料等を整理・保管する。

